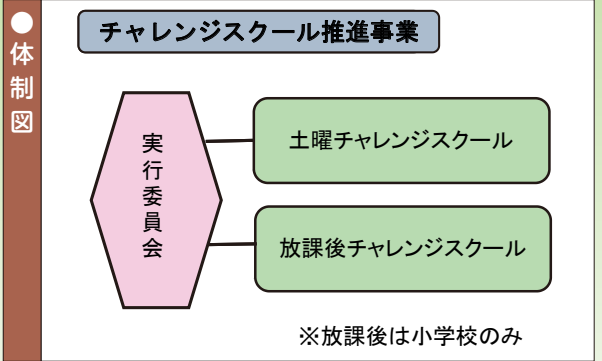


地域で子供たちの学習をサポートしています

埼玉県さいたま市	● 活動名	● 関係する学校名
	上チャレ	さいたま市立上大久保中学校

開始年度	平成 24 年度	学級数	15 学級	生徒数	550 人
主な実施形式	■個別指導	■授業形式	■自習	生徒の参加人数	平均人数
	■グループ学習	■その他（検定試験の実施）			30 人
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数	地域学校協働活動推進員の数	配置人数	実施場所	施設名：中学校 実施場所：視聴覚室、図書室等
	0 人	1 人			
ボランティアの数	登録人数	属性	元 PTA 役員、PTA、元教員、シルバーバンク、大学生、卒業生、参加生徒保護者、地域住民等		
	60 人				
参考 URL					



● 連絡先 さいたま市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課 ☎ 048-829-1703

● 活動の概要・経緯

上大久保中学校の希望する生徒一人ひとりの基礎学力の向上や学習習慣の定着を図るため、平成 24 年度に地域諸団体の有志が集まり、実行委員会を立ち上げ活動がスタートした。隔週土曜日や部活動のない放課後に、地域の元教員、現役講師、教員志望の学生等が生徒の学習をサポートし、地域ボランティア、PTA を中心とした安全管理員が見守りなどの補助をしている。学力の向上のみならず、地域の大人との交流の中で幅広い知識や豊かな学びを得るきっかけにもなり、平成 29 年度で 6 年目を迎える現在、登録生徒は全校生徒の 20% を超えている。本取組は個々の生徒の目的に応じて参加できる学びの場として、上大久保中学校地域において、なくてはならない存在となっている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

①学習のサポート：教科ごとに分かれて生徒が学習を進め、学習アドバイザーが巡回しながら質問に応じている。また学習プリントを活用して、答え合わせ、解説を行い、生徒が間違えた部分、わからなかった部分を理解できるまで学習アドバイザーがサポートしている。②検定試験の実施：土曜又は平日の放課後、年間で漢字検定試験 3 回、数学検定試験 2 回を実施。試験対策として、過去問題の活用や、受検対象に模擬試験も実施している。③体験学習：毎年年度当初に消防署より講師を招き救命講習会を行っている。全スタッフと希望生徒が参加。

【実施にあたっての工夫】

①スタッフ同士の報告・連絡・相談を逐一行い、生徒一人ひとりに目が行き届くよう工夫している。質問することが苦手な生徒や集中力が続かない生徒に対しては、安全管理員が声掛けをしたり、学習アドバイザーに繋げたりすることで学習が円滑にでき、集中して学習に取り組める環境を整えている。最低でも生徒 4 名につき学習アドバイザーを 1 名付けるようボランティアを確保し、配置している。学習プリントの結果をスタッフ間で共有し、学習のつまづきを確実にフォローできるようにしている。②施錠開錠の確認、名札の着用、生徒の健康チェック等、安全対策を徹底している。③生徒の様子や校内の使用状況等について学校と連絡を取り、情報を共有し連携体制を構築している。

● 事業を実施しての効果・成果

①学習サポートや学習プリントの活用により、個々の学習状況やつまづきを発見でき、苦手分野を克服できたという生徒の声が多くある。学習を通じて、地域の大人と会話し交流することにより、社会性が育まれ、学びの視野も広がっている。また、塾に行っていない生徒やもっと学びを深めたい生徒の学びの拠り所ともなっている。②検定試験では、確実な目標設定ができ、校内で受検できる利便性もあり、受検生徒が年々増加している。回を重ねるごとに全体的な受検級のレベルが上がり、漢字検定試験 2 級、数学検定試験 2 級の合格者も出てきた。③体験学習の中でも特に毎年開催している救命講習会は、安全管理体制の確立や生徒自身の安全に対する意識の向上に効果をもたらしている。

● その他

- ・（公財）日本漢字能力検定協会、（公財）日本数学検定協会と連携し、学習教材の活用や、検定試験を行っている。
- ・市消防局と連携して毎年救命講習を実施し、安全管理体制の確立、参加者の安全意識の向上を図っている。



上チャレ 開講式の様子



学習中の様子と救命講習会



ポイント

生徒一人ひとりに目を配ってつまづきをフォローし、地域のスタッフ同士や学校との情報共有・相談を密に行っている点が素晴らしいですね。